大阪大学
THE UNIVERSITY OF OSAKA

Press Release

取り組み

2026年3月30日

＼新型コロナ「緊急事態宣言」から6年、次のパンデミックに備える／

危機対応シミュレーション実施結果を公表

－記者会見：4/7（火）11:00～@オンライン－

概要

大阪大学感染症総合教育研究拠点（CiDER）は、2026年1月に新型コロナウイルス感染症のパンデミックの際に浮かび上がった様々な課題を踏まえ、**次のパンデミックを想定した「感染症有事に備えた危機対応シミュレーション」**を実施しました。

本シミュレーションでは、パンデミックにつながる可能性のある**病原性の高い新興・再興感染症**が国内に持ち込まれた場合を想定し、研究者や医療従事者が学内外の関係機関と連携しながら、**研究・医療体制の立ち上げや情報発信**などにどのように対応するかを実践的に検証しました。

さらに、新型コロナウイルス感染症のパンデミックにおいて、日本で初めて**緊急事態宣言**が発出された**2020年4月7日**から6年となる節目の日である**2026年4月7日（火）11時より、今回の危機対応シミュレーションの概要と、訓練を通じて浮かび上がった課題**について**オンライン記者会見**を行います。

❖ 危機対応シミュレーションの実施概要

【日　時】

2026年1月7日（水）　およびその前後数日

【参加者】

大阪大学感染症総合教育研究拠点（CiDER）の専任・兼任教職員および学内外の関係機関



【訓練の概要】

東南アジア某国において、**H5N1 鳥インフルエンザウイルスのヒトからヒトへの感染**により多数の患者が発生し、同国から帰国した発熱患者から **H5N1 鳥インフルエンザウイルスが検出された**という設定で訓練を開始しました。

CiDER ではただちに緊急会議を招集し、**研究・医療体制・リスクコミュニケーション（情報発信）**などの各専門家が、学内外の関係機関と連携しながら対応に当たりました。

本シミュレーションは、**将来のパンデミックに備えた研究・医療体制の強化**と、**社会への迅速かつ適切な情報発信のあり方**を検証することを目的として実施しました。

❖ 記者会見について

2026年4月7日（火）11時より、今回の危機対応シミュレーションの概要と、その実施によって**明らかになった課題、今後のパンデミック対応に向けた展望**について記者会見（オンライン形式）を行います。（登録締切：4月6日（月）15時）

本学では、今回のシミュレーションで得られた知見を、**将来の感染症危機への備えに活かしていく予定**です。

❖ 大阪大学感染症総合教育研究拠点(CiDER)について

大阪大学感染症総合教育研究拠点(CiDER)は、本学の強みを活かし、感染症に関する基礎研究の推進と研究成果の社会実装、感染症対策を担う医療系専門人材の育成、そして科学的知見に基づく情報発信を一体的に推進することで、新たな感染症への対応力強化に取り組む組織として、2021 年 4 月に設立されました。

大阪大学感染症総合教育研究拠点 HP:https://www.cider.osaka-u.ac.jp/